

日本政府観光局(JNTO)国際会議誘致・開催貢献賞の概要

- 本賞は、国際会議の意義の普及・啓発や日本での国際会議の開催を推進するため、国際会議の誘致及び開催における優れた功績を表彰することを目的として、平成20（2008）年度に設けられ、今年度が12回目の実施
- 今回は、平成30（2018）年度中に誘致・開催された国際会議の中から、コンベンション有識者で構成される審査委員会での審査を経て、国際会議誘致の部3件、国際会議開催の部6件（大規模会議3件、中小規模会議3件）の計9件が選出された。

（参考）日本政府観光局の報道発表資料

https://www.jnto.go.jp/jpn/news/press_releases/pdf/20190207.pdf

受賞理由

- 世界98か国・地域から9,815名が参加し、過去最大規模となった。
- 皇太子同妃両殿下（当時）の御臨席を賜り、国土交通大臣、環境大臣や都知事などが参加し、国内外のメディアから注目を集める会議となった。
- 会期中、参加者にステンレス製のマイボトルを配布するとともに、会場内にウォーターサーバーを設置し、参加者が東京の水道水を試飲。安全で快適な水環境を創造する東京ならではの持続可能な取り組みとして、主催者や参加者などから高く評価された。